

全苗連だより

Vol. 25 (8月号)

平成28年8月31日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

平成29年度林野庁予算概算要求が提出される(速報)

コンテナ苗生産施設の整備など幅広く助成する
「次世代林業基盤づくり交付金」は244%と大幅な伸び

林野庁は8月31日に、平成29年度予算概算要求を財務省へ提出しました。これから年末にかけて予算折衝がスタートします。

林野公共事業費は2,160億円(H28 予算 1,800 億円、以下〇は H28 予算)で対前年度比120%となっています。**主伐後の再造林等を推進**する森林整備事業費は1,443(1,203)億円で対前年度比は同じく120%となっています。大いに期待したいと思います。

これとは別に、非公共事業に目を向けます。

「次世代林業基盤づくり交付金」は昨年度創設されたところですが、補助メニューは、間伐材生産・路網整備やCLT等を製造する木材加工流通施設、木質バイオマス関連施設、**苗木生産施設等の整備**など地域の実情に応じた川上から川下までの取組を総合的に支援する内容となっています。

この交付金を含め、林業の成長産業化・森林吸収源対策の推進、さらに花粉発生源対策の推進などの施策により、主伐が増加することが想定されており、苗木の需要量の増加が期待されます。

苗木に関する主な事業としては

【次世代林業基盤づくり交付金】(15,000,000(6,140,633)千円)のうち【2 森林・林業再生基盤づくり交付金(拡充)】に含まれる

『④森林保全の推進等(拡充)』(10,972,000(4,140,633)千円の内数)が該当します。

H28予算の[次世代苗木生産システムの構築]を拡充したもので、主伐後の再造林を確実に実施するために、低コスト造林に資するコンテナ苗を大量に供給する**苗木生産施設等の整備**にあてられます。

そのほか、

【苗木安定供給推進事業(継続)】(245百万円)

(1) **花粉発生源対策採種園の整備等**

① 採種園等の造成・改良

花粉症対策品種等の苗木の生産を目的とした採種園等の造成・改良を支援します。

② 採種園の再活用

安定的な種子確保及び種子生産量の拡大を目的とし、国有林を対象とした利用されていない採種園の再活用を実施します。

③ 造林地における穂木採取のための整備

国有林の人工造林地を穂木の採取源として活用するための条件整備を実施します。

④ 種子の生産拡大

種子の生産拡大のため、人工交配を実施する者を対象として都道府県が行う技術研修を支援します。

(2) 花粉症対策苗木の供給拡大

優良種苗の供給拡大のために、全国各地で苗木生産者を対象として行うコンテナ苗生産の技術研修、巡回指導を支援するものであり、全苗連は、本年度と同様に事業実施主体として応募したいと考えています。

(3) 花粉症対策苗木への植替えの促進

花粉発生源となっているスギ林において花粉症対策苗木への植替えを促進するため、スギの加工業者等が行う森林所有者への働きかけを支援します。

全苗連・苗組の行事予定

～H29.3 ①コンテナ苗生産未経験者を対象とした研修会 ②コンテナ苗生産新規参入者を対象とした研修会 ③コンテナ苗生産経験者を対象とした巡回指導等 実施者;該当道県苗組

10月13日 全苗連生産者の集い(静岡県伊豆の国市・長岡総合会館AXISかつらぎ)

10月14日 全苗連生産者の集い・視察旅行(静岡県内)

11月 8日 東海・北陸地区林業用種苗需給調整協議会(三重県合同ビル)

11月15日 九州地区林業用種苗需給調整協議会(鹿児島市勤労者交流センター)

11月16日 九州苗連協議会総会(鹿児島市勤労者交流センター)

11月17日 近畿地区林業用優良種苗需給調整協議会(奈良県)

